



君<sup>きみ</sup>が<sup>が</sup>教<sup>おし</sup>えてくれたこと

♂×♀  
**R18**  
成人向け

The Prince and the pauper Fanbook  
The things you told me  
じきゅうじそく

# ※ 注意 ※

## ※ 18歳未満の購読を禁じます ※

本誌は、下記を盛大に含んでいます

- ・ディズニーの二次創作
- ・キャラの美化
- ・「王子と少年」より王子×少年のBL
- ・シヨタホモセックス

また、「同人」がなんたるかを理解し、心得てる方のみどうぞ

この本は個人的に作られた非公式作品です。

公式の制作会社・その他関係者様とは一切関係がありません。  
内容はフィクションであり、実在のものとは一切関係がありません。  
デリケートなジャンルですので、同人をご存じない一般の方や  
関係者様のお目に触れないようご配慮をおねがいします。

**本書を発行者の許可なく、無断転載・**

**中古販売(ネットオークション・フリマアフリ・同人誌古書販売店含)**

**・公共の場への持ち込み・転用・複写行為・**

**無断アップロード(撮影してネットに掲載含)・配布・共有、  
これらすべてを禁止します。**

Disclaimer:

- ・Copyrights of Disney character belong to Disney.
- ・This Dojinshi is created for the purpose of personal leisure only.
- ・Any copying, reproduction, distribution, or use of any materials in this Dojinshi is strictly prohibited without my written permission.
- ・This Dojinshi must NOT delivered to official related persons.



※便宜上、髪がハネてる方が王子です

はあっ…

はあっ…

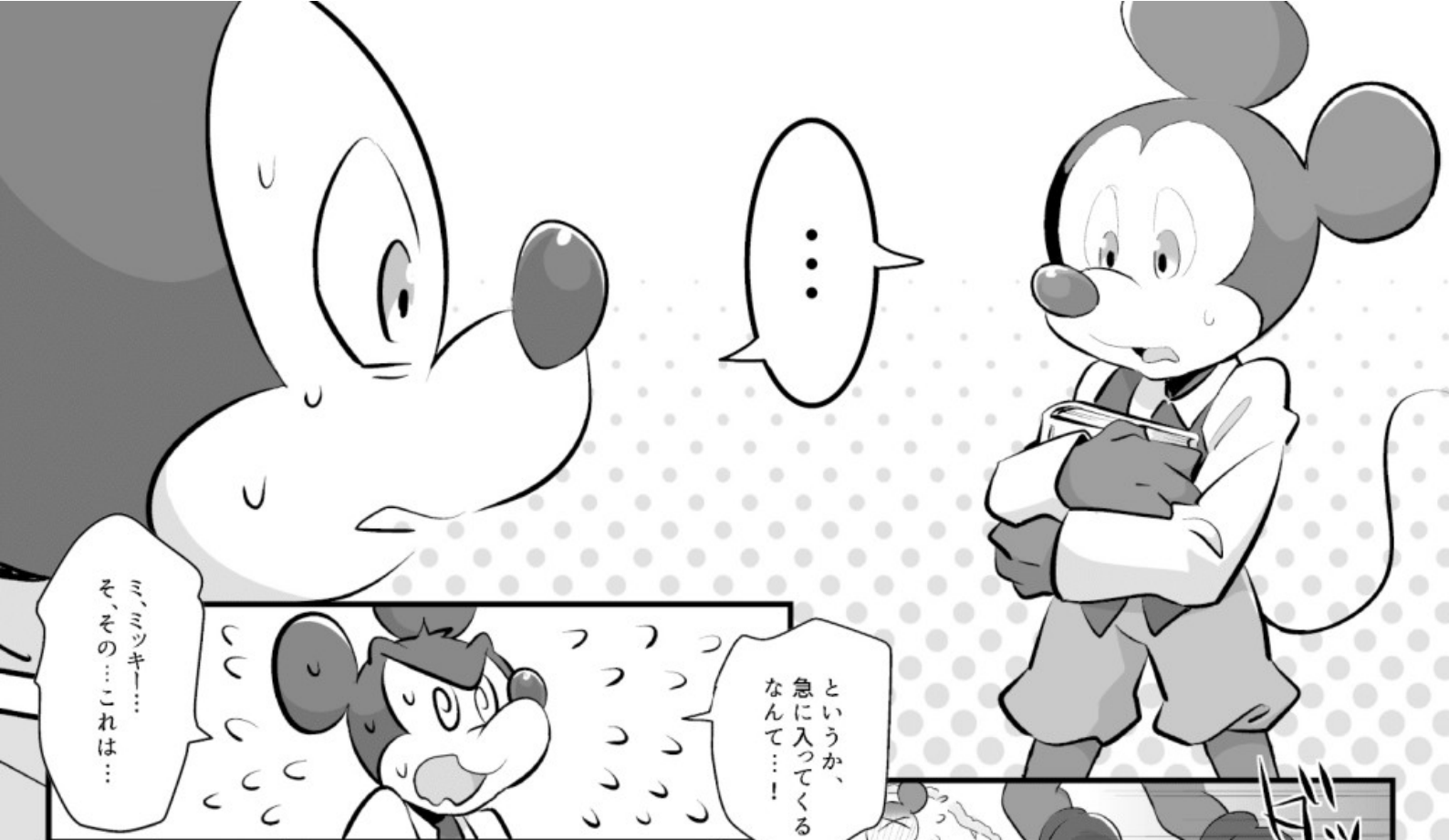
ミッキーの…  
シャツ…

んっ…あっ…

殿下っ！  
ホーレス先生が  
明日の授業までに  
この教材を  
読んでおきなさいって…

!!!

ガッ  
キヤッ



ミ、ミッキー……  
そ、その……これは……



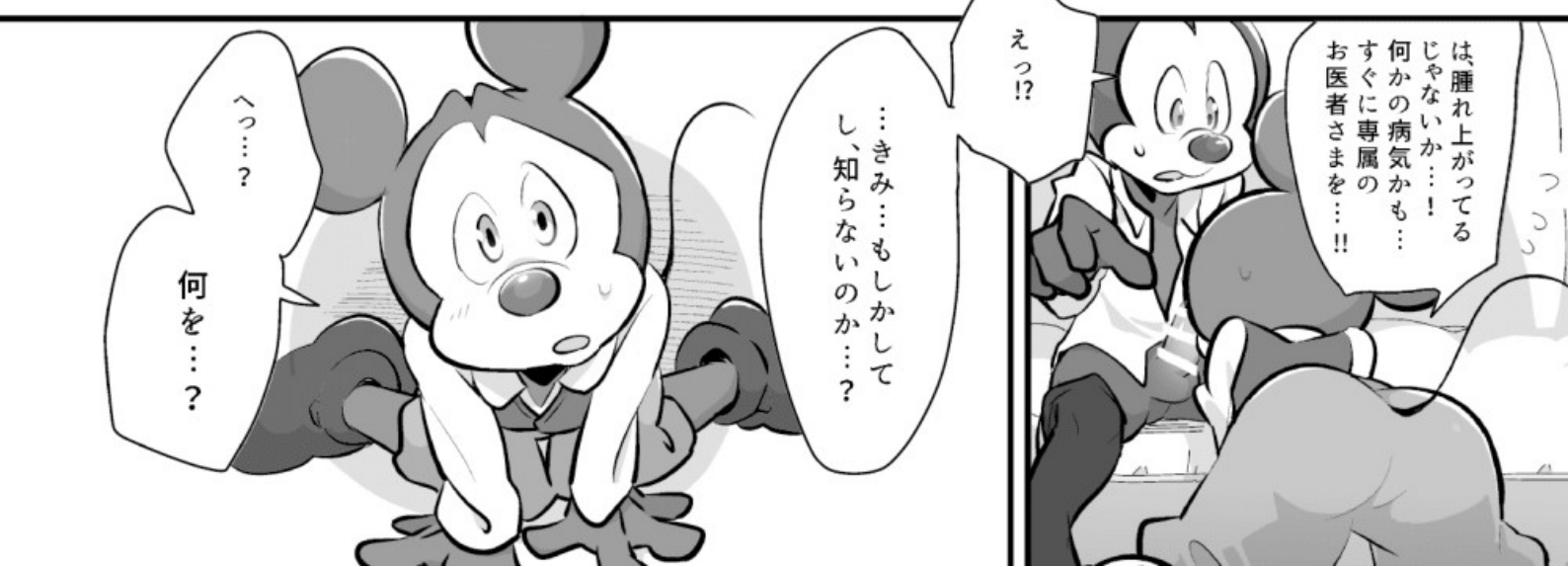
というか、  
急に入ってくる  
なんて……!



**まっしゅ**



だ……  
大丈夫!!?



へっ……?  
何を……?

……きみ……もしかして  
し、知らないのか……?

えっ!?

は腫れ上がってる  
じゃないか……!!  
何かの病気かも……  
すぐに専属の  
お医者さまを……!!



そうか：  
君はまだ教わってないんだね：

これは病気じゃない。  
私が自分で  
やってることなんだ：

???

えっ…  
でも、そんなに赤くなって…  
痛くないの…？



むしろ  
気持ちいいこと  
なんだよ：

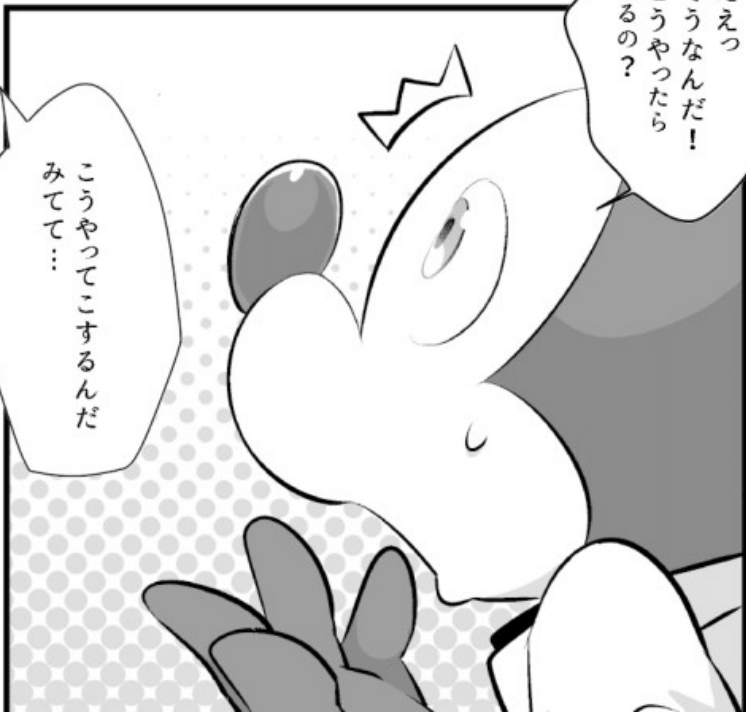
ミッキー  
君の為にも  
私が教えてあげよう



うん…ありがとうっ

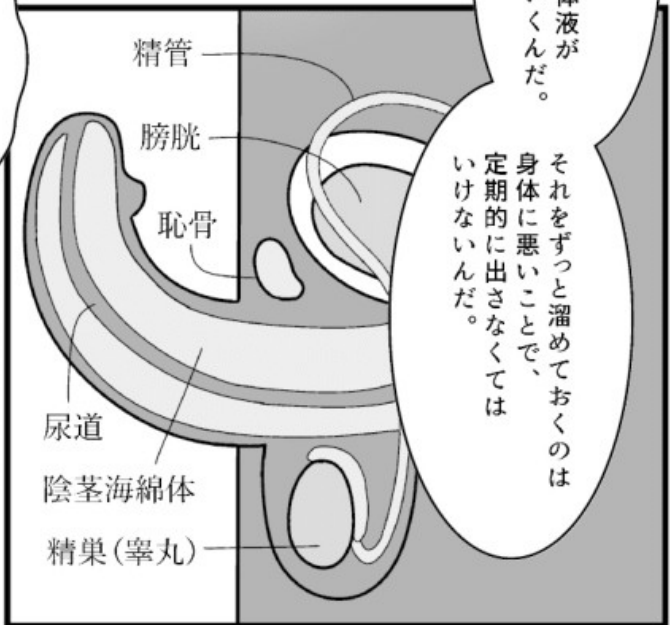
ここにはね、  
「精液」という液体が  
毎日溜まっていくんだ。

それをずっと溜めておくのは  
身体に悪いことで、  
定期的に出さなくては  
いけないんだ。



ええっ  
そうなんだ！  
どうやったら  
出るの？

こうやってこするんだ  
みてて…



精管

膀胱

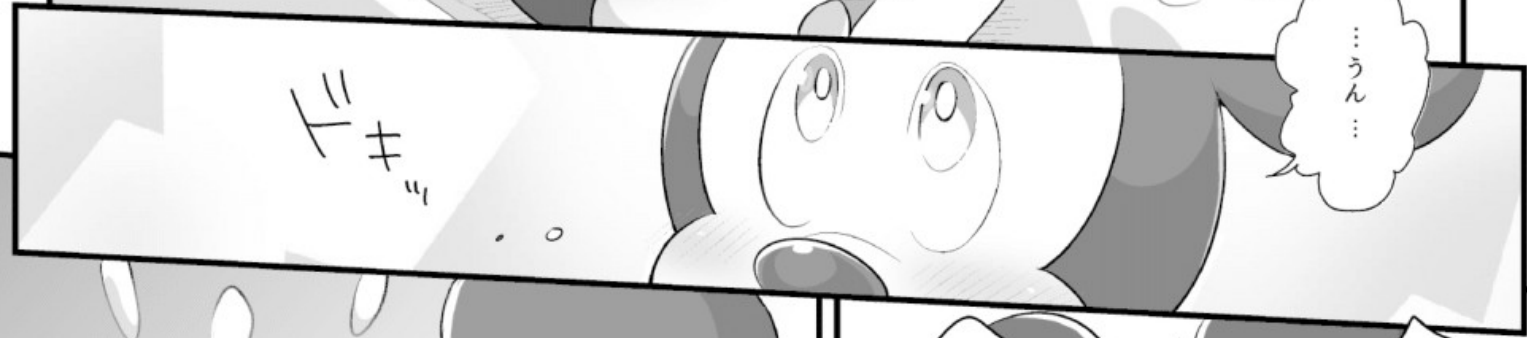
恥骨

尿道

陰茎海綿体

精巣(睾丸)





こ、これがその…  
せーえき…？

はみ…

しし  
しし

そ、そう  
だよ…

触っても  
毒じゃないから  
安心して。  
かけてごめん…

ううん  
へーき。

はあ…

ねえ…これって…  
ボクの身体にも  
溜まつてるのかな…？

どうしよう…  
ボク…  
出したことないよ…

それは  
まずいな…

すぐに  
出したほうが  
いい…

う、うん…  
うまくできるかな…

私が見て  
あげるよ…

ありがとう…！

ぬぎっ

えっと...

そうだよ。  
そうすればだんだん  
さつきみたいに大きくなるんだ

おちんちんを  
こすればいいんだよね...?

なんか...  
ちよと...恥ずかしいね...

いい調子だ。  
そのまま...

う、うん...

えっ

そんなことない。  
かわいいよ。

しゅ...  
しゅ...







お風呂

お風呂

ヒッパッ

ココロ

ヒッパッ

ヒッパッ  
ヒッパッ

きもちよかった?

ヒッパッ

ヒッパッ

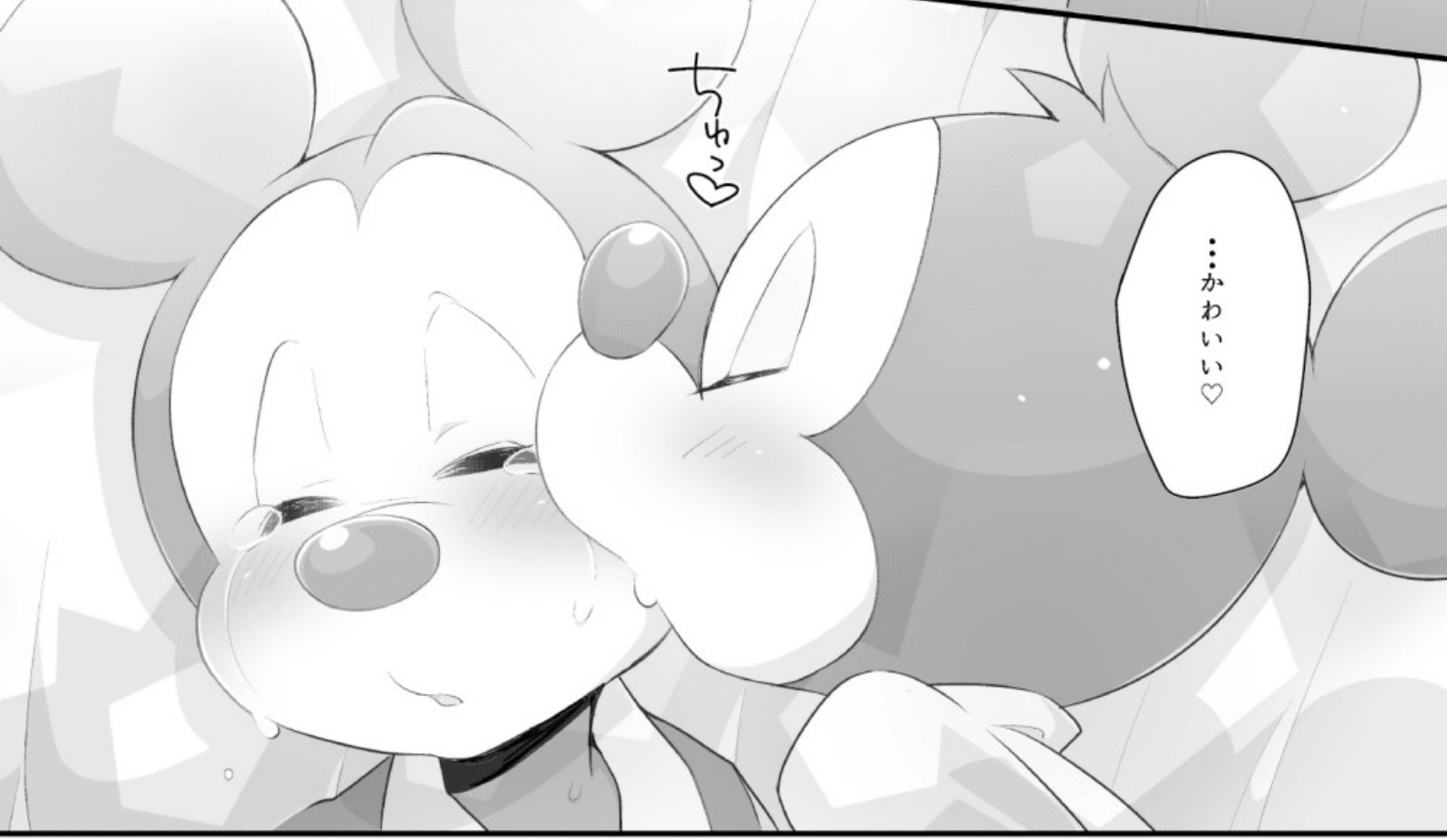
!?

ココロ

お風呂



それどころじゃ  
ないか…



…かわいい♡

[Redacted]

[Redacted]



あれ…？  
そういえば  
なんでここに  
洗濯にだしたはずの  
ボクのシャツが  
あるんだろ？

数カ月経ち  
好奇心旺盛な二人のその後…



やっ  
そんなとこ…!  
きたないよ!

ミツキー  
ほら、ここに指を入れると  
もつと気持ちいいよ…

こんな格好  
恥ずかし…!

だいじょうぶ  
だから…

おほっ  
♡





END

～おまけ～

なぞ  
挿入シーンが  
なぞだぞ！！





あ、と見てたいけど、  
殿下とんざんざん、  
リジョナリ



殿下の指輪、  
キレイだなあ……



……  
見当たらないと思ったら  
キミが持ち出したのか



キミが「あやあや」は  
左手の二こだから



怒られる  
怒られる

もともと「あやあや」は  
国宝を勝手に……!!



……  
……  
……

外しますから!!

暖炉の炎が小さくしぼみ、今にも尽きそうな火種がぱちんと大きな音で弾けた。

その鋭い音に、夢から引き上げられた少年は瞼をこすった。ゆるやかな朝陽が差し込む天井を見上げる。暖かいベッドの中でぬくぬくと伸びをして、隣の王子を起こさぬよう布団から抜け出した。

すぐさま体にまとう冷気に肩を震わせ、薄い寝間着の袖を何度もこすった。素足の裏が今にも凍りつきそうだ。暖炉を覗くと熾火が揺らいでいる。

はぁ、と吐いた息が白く煙った。足音を忍ばせて暖炉を覗き込む。呼吸を凍らせる寒さの中で少年は小枝を掴み、火種をつついて空気を与えた。藁を砕いて燃料を足し、段々と炎が膨らんでくると慎重に息を吹きかける。手のひらをかざして火の温度を測り、薪をくべて炎に食べさせた。

じりじりと蘇る火種を見届けたところで、少年はようやく腰をおろした。木目を燃やしてゆく赤い炎の行方を眺める。ふとベッドの足元に散らかしていた靴を思い出して、すっかり冷えた足を押し込んだ。

王子が目覚める前に、少しでも早く部屋を暖めなければ。少年はすすだらけの掌を開いて息を吹きかけた。これだけでも、随分寒さがマシになる。

「……こんなに冷えて」

音もなく、不意に背後からぎゅっと抱きしめられた少年は肩をすくめた。王子だ。眠たげな声が耳に触れ、頬擦りをしてくる。寝起きの体温が冷えた少年の体を暖めた。

「殿下、おはよう」

毛布を引きずって来たらしい王子は、自分ごと少年へ覆い被せた。前が見えなくなった少年が体勢を崩すと、より一層腕が巻きついてじゃれついた。

「だめだよ、危ないから」

少年の背中におぶさる格好で、王子は抱擁を続けている。少年はけたけたと笑いながら腕の中から逃げ出した。再び暖炉へ向かうと王子は懲りず、猫のように背中をしならせて擦り寄った。

「なあ、また服を交換しないか？周りをからかって遊ぶのは楽しいぞ」

ありったけの悪戯を込めて誘惑をする。その誘いに少年は鼻頭を擦って悩むと、思いついたのか王子へ小枝を差し出した。

「じゃあ入れ替わった時のために、火を起こせるようにならなくちゃね」

その言葉にまばたきを繰り返した王子は、微笑む少年と小枝を交互に見つめた。しかし直ぐさま手のひらをポンと叩くと、悩むことなく頷いたのである。

「よし、ではやろう」

王子は自信たっぷりにそう言い放つと、小枝を暖炉へ突っ込もうとした。そんな手荒な事をされると、せっかく蘇らせた火種が朽ちてしまう。

少年はやんわりとその手を握って、「こうだよ」と要領を教えた。簡単そうに見えてなかなか火が安定しない。苦戦する王子をなだめながら、炎を育てる事にしよう。必死な横顔に頬がほころんでしまう。どんな困難も、王子とならば楽しみに変わるのだ。

やがて薪が煌々と赤く火を抱き、暖炉を暖め始めた頃。炎の暑さに、冬の寒さを忘れた少年は薄い寝間着を脱いだ。素肌を露わにしても、暖炉の前では夏のようなのだ。

「殿下、替えっこしようか」

そう言って着替えを促す小さな背中に王子はウウンと唸った。困ったような素振りを見せた後、毛布を床へ放った。

「一石二鳥とは言ったものだなあ」

言葉の意味を分かりかねている少年に、ぐんと近づいてキスをした。王子は驚くその顔を瞳に映し、めらめらと熱気を送る暖炉の前で上着を脱いだ。

「それって……」

体に触れる手つきから少年がその思惑に気付いた頃、王子の企みはすでに始まっていたのだ。

# Thank you for reading!!

この度は最後まで読んでいただきありがとうございます！

去年の冬に初めて「王子と少年」をみてからというもの、  
ただひたすらに、王子と少年ちゃんのセックスばかり妄想してきましたが、  
ついにこうして、カタチにすることができました！  
念願の王少R18本〜〜！！

正直、ミッキーマウス(しかも美化)の成人向けということで、  
イベントが終わるその時まで、何事もなく無事にすごせているが  
今からヒヤヒヤしている次第ですが、無事に頒布できてますように…！！

そして、ぜひ今後王子と少年(王少でも少王でもいけます！！)を描く人が  
増えてくれますように〜〜！！

最後に、ゲスト寄稿してくれた、しげさん、こもこもさん、ありがとうございました！  
この二人の王少府二次創作とっても素晴らしいのでぜひ  
ぜひみなさんチェックしてみてください！

ではでは、また次の機会にお会いできるのを  
楽しみにしております。

b

---

君が教えてくれたこと  
じきゅうじそく / b  
印刷 / STARBOOKS  
2016/12/30

Twitter: @itumonohentai\_b / @hentai\_b2319  
pixiv: 123456  
deviantArt: hentaib2319  
FurAffinity: hentaib  
Mail: aka\_shiro\_rose\_rose@yahoo.co.jp



JKYUUJISOKU presents  
The Prince and the pauper Fanbook